

(様式第4号)

第7回 武石地域協議会 会議概要

1 審議会名	武石地域協議会
2 日時	令和元年11月20日 午後7時00分から午後9時00分まで
3 会場	武石地域自治センター2階 第1会議室
4 出席者	池内俊郎会長、大草ひろみ副会長、荻原和雄委員、金井修一委員、金子るり子委員、木下嘉章委員、小池文男委員、小山ひとみ委員、櫻井照子委員、桜井保子委員、城下晃代委員、鈴木三千夫委員、高橋みち子委員、滝沢友子委員、馬場美穂子委員、廣田百合子委員、松井智哉委員、宮島友和委員、山岸誠委員 【欠席委員1名】
5 市側出席者	石井地域自治センター長、金子地域振興課長、宮越教育事務所長、佐藤市民サービス課長、滝沢産業建設課長、内堀建設管理担当係長、田中担当幹、芳池丸子・武石上下水道課長 鎌原政策企画課長、中山政策企画担当係長、竹内交通政策課長、山川主事 坂部地域政策担当係長、依田地域担当、掛川主査
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和元年11月26日

協 議 事 項 等

1 開会(大草副会長)

2 あいさつ(池内会長)

3 報告

(1) 地域協議会の見直し(案)に対する意見書の提出について

(会長)意見書(案)に対して特段意見がなかったため、地域協議会の見直し(案)については原案のとおり賛成する旨の内容で、11月12日付意見書を提出した。意見書には、第5回協議会で出た意見も添付されている。

4 諮問・報告・協議事項

(1) 第二次上田市総合計画 後期まちづくり計画策定に伴う「地域の特性と発展の方向性」の見直しについて(諮問)

・第二次上田市総合計画 後期まちづくり計画(令和3~7年度の5か年)の策定に向けて「地域の特性と発展の方向性」の見直しの手順について政策企画課から説明

【質問・意見等】

(会長)ただいまの政策企画課からの説明に対し、質問や意見があればお願いしたい。

(委員)地域の特性、発展の方向性の内容を変更やしたり付加したりすることは可能なのか。

(政策企画課)現在の内容は、平成28年に作成したものである。今回の見直しは、10か年計画の後期分の見直しであり、必要があれば、追加や修正をしてもかまわない。

(委員)温暖化により松くい虫の被害は、これからもっと標高の高い方へも被害が及んでくると思う。松くい虫の被害拡大や荒廃農地の増加などは、武石地域に限らず市全体の問題であると思うが、市としての考えや方向性を教えていただきたい。

(政策企画課)総合計画の中には市政全般についての内容も当然盛り込まれており、松くい虫対策や荒廃農地の解消についての施策も含まれている。細かな地域の特色等は、地域ごとの計画として立てており、今回の見直しは地域に係る計画についてお願いしている。市全体の課題と武石地域としての課題が重複しても問題はない。

(会長)地域の計画しかないのでは総合計画の全体が見えてこない。

- (事務局)市全体の総合計画をわかりやすくまとめた概要版を後日皆様にお送りするので、内容をご確認いただきたい。
- (委員)総合計画の中に盛り込まれていて事業を進めているというが、住民の目から見て成果が見えないものもたくさんある。大事にしなければいけないのは、自然と人を大事にすることだと思うが、自然に対するものが薄れている気がする。台風災害も、災害前の対処により防げたものもある。
- (会長)市全体の計画に地域協議会で出た意見を反映していくことは可能なのか。
- (政策企画課)市全体の計画の見直しについては、別の審議会(上田市総合計画審議会、委員60人)で分野別に審議を進めている。広く市民から意見を求める場を設ける予定なので、そうした場でご意見をお出しいただければと思う。
- (会長)続いて、検証シートの内容について協議したい。3月までに答申しなければならないので、ピッチを上げて協議を進めなければいけない。本日は、検証シートの内容について思ったことなどを出していただければと思う。
- (委員)武石地域の課題としては、やはり松くい虫、荒廃農地ではないか。また、先月の台風による沢水で道路がかなり傷んでいる。「災害に強い道路網の整備」とある。今回被害のあった道路は対象外かもしれないが、また大雨が降るとさらに傷む可能性があるため、その前に修繕をお願いしたい。
- (委員)空き家も増えている。空き家を利用してくれる人を探して、人口増加や子育て世代の定住策を考えられないか。
- (委員)「地域の特性と発展の方向性」には、地域のよいところのPRしか載っていない。市街地とは異なる武石地域の現状の課題も明記し、それらの解決のための施策を載せた方がよいのではないか。
- (委員)地域の特性も観光的な要素が多いので、武石をこれからどうやって作っていくのかを考えなければいけない。
- (委員)遊休荒廃農地の解消についての取り組み達成度が「概ね順調」になっているが、自宅周辺を見ても深刻な状況に見える。どのような形で計画を進めているのかわからない。また、6次産業化の取り組みについて、武石でPRしているものがどの程度あるのか。大規模事業者だけが対象となっているのか。
- (委員)武石生活改善グループの「ずくっ娘味噌」が6次産業の取り組みになっていると聞いた。生産・加工・販売をしているのが6次産業であり、規模は問題ではない。
- (委員)武石生活改善グループも会員が高齢化にきている。
- (委員)農業委員会の遊休荒廃農地の定義では、1年に一度も草刈りをしていないところとなっている。年1回でも草を刈っていれば、荒廃農地には含まれない。
- (委員)農業委員会で、農地転用をもっと柔軟にしたらよいと思う。宅地に転用でき、太陽光発電や住宅が建設されれば、市の固定資産税の収入も増えるのではないか。
- (委員)農地転用も、農地を宅地にするだけでなく、最近は農地を山に戻すという転用も増えている。
- (会長)規制緩和について提案はしていきたいと思う。その他、資料をご覧いただき、ご意見等がある場合は11月26日までに事務局まで連絡をお願いしたい。

(2) 千曲バス「市営循環バス、路線バスの廃止・休止」について(報告)

- ・8月の千曲バスからの申し入れに対し協議を重ねた結果について、交通政策課から説明

【質問・意見等】

- (委員)公共交通活性化協議会が11月22日(金)に開催された後、11月25日(月)に武石地域の住民説明会が計画されている。そこで出た意見は反映されないが大丈夫なのか。
- (交通政策課)本来であれば、公共交通活性化協議会の前に住民説明会を開催したかったが、地域協議会

への報告の関係もあり日程の調整がつかなかった。

(委員)公共交通活性化協議会で承認されれば、具体的な手続きに入っていくのか。

(交通政策課)承認されれば、事業者側で国への手続きを進めていく。

(委員)住民説明会で異論が出て変わるものではないということか。

(交通政策課)千曲バスでは、この内容でなければ運行できないという状況とのことである。長野陸運支局で他のバス会社の様子も聞いたが、千曲バスだけが特異な人員不足の中で運行している状況を確認している。

(委員)千曲バスで特異な人員不足が発生している原因は何かあるのか。

(交通政策課)千曲バスは県内バス会社の大手の1つだが、他と比べて賃金が安く、ドライバーが他社へ移ってしまう。また、路線バスは停留所ごとに停まるため非常に神経を使うとのことである。

(委員)8月の申入れから3カ月に渡る協議を行ったとのことだが、協議は千曲バスと交通政策課で行われたのか。

(交通政策課)そうである。当初は、交通政策課では「廃止は受け入れられない」と押し返していたが、千曲バスからは「これだけ減らさなければカバーできない」という話であった。労務管理の面で万が一交通事故等があった場合、全ての路線が止まってしまう可能性もあるため、この内容で協議を整えた次第である。

(センター長)千曲バスの収益の悪化の背景として、地域のために路線バスを維持していこうと努力してきた結果、収益の大きい貸切バス事業に手が回らなかったことはご理解いただきたい。

(委員)いつから土日祝日の運行が休止になるのか。

(交通政策課)12月28日(土)から休止の予定である。

(委員)平日の通学のバスだけは、何とか維持してもらいたい。武石の子どもが高校に行かなくなってしまう。

(委員)資料に「千曲バスに委託している市営循環バスは、事業者変更の検討が必要」とあるが、千曲バスは受けられないということか。

(交通政策課)市街地循環バス・赤バスは上田バスへ移管準備を進めている。まりんこ号は、今年度末までは契約しているが、来年4月以降の事業者の検討をしなければいけない。今回の台風災害による鉄道の代替バスについても観光バスの事業者が来ており、路線バスをやっていただけの事業者がいないというのが実情である。

(3) 全体協議 武石地域の「公共交通」について

・住みよい武石をつくる会健康福祉体育部会で実施した「武石スマイル号に対してのアンケート調査」の結果について地域振興課(住みよい武石をつくる会事務局)から説明

【質疑・意見等】

(会長)健康福祉体育部会では、最終的にアンケート結果を基に政策を提言することを考えているのか。

(地域振興課)住みよい武石をつくる会の予定では、提言までつなげたいと考えている。

(会長)スケジュール的なものは決まっているのか。

(委員)健康福祉体育部会の副会長をやっているが、来週、部会があり各個人で分析してきたものをまとめる予定にはなっている。提言にまとめていくのはなかなか難しいと思う。

(会長)部会の中で協議された内容も踏まえ、地域協議会としてはその結果を見ながら、地域協議会でやるべきことがあれば一緒にやったり、地域協議会名でやっていくなどの対応はできる。

(4) 令和2年度 当初予算における持寄り基金充当予定事業について

- ・持寄り基金を使った岳の湯温泉雲溪荘利用促進のための備品購入(座卓用のいす)について、産業建設課から説明

(委員) 利用者の利便性の向上であり、誘客にもつながると考えられる。

- 特段意見無し、了承 -

(5) その他

- ・講演会「3.11を学びに変える」 特別講師 佐藤敏郎氏

日時：11月24日(日)午後2時~4時30分 場所：塩田公民館(大ホール)

- ・ふれあい・人権の集い2019

日時：12月5日(木)午後6時15分~ オープニングセレモニー

6時30分~ 人権啓発作品発表会

7時00分~ 人権講演会 講師 菊池幸夫氏

場所：丸子文化会館セレスホール

- ・第7回地域協議会の日程について

日時：12月18日(水)午後7時~

- ・池内会長から、雲溪荘の利用率向上に向けて各団体、グループへの利用の呼び掛けについて

4 閉会(大草副会長)